

令和5年度

〔自 令和5年4月1日〕
〔至 令和6年3月31日〕

業務報告書

島根県農業共済組合

総代会に対する理事の提出書

令和5年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及び不足金処理案を別紙のとおり総代会に提出します。

令和6年6月20日

島根県農業共済組合

組合長理事	堀江 眞	理 事	藤原 久
副組合長理事	熊谷 直道	〃	桑谷 充男
理 事	川上 幸博	〃	松浦 秀信
〃	伊原 幸俊	〃	中西 康一
〃	加納 弘	〃	大矢 操
〃	錦織 稔	〃	安松 智
〃	岡本 利道	〃	松崎 寿昌
〃	草野 和馬	〃	湯浅 英行
〃	出羽 嘉美		

事業報告書

令和5年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）

（1）農作物共済関係

（引 受）

年産	共済目的	組合員数	引受面積	共 済 金 額	徴収共済掛金 (A)	交 付 金 (B)	手持共済掛金 (A)+(B)
5年産	水稻	人 13,402	a 965,173.4	円 7,429,062,425	円 15,621,141	円 9,535,027	円 25,156,168
	麦	31	19,310.0	34,832,510	1,496,043	768,306	2,264,349
	計	延 13,433	984,483.4	7,463,894,935	17,117,184	10,303,333	27,420,517
		実 13,406					
6年産	麦	25	13,367.7	24,570,804	968,079	493,007	1,461,086

※引受変更に伴う還付支払金、交付金の修正を含む。

【引受の状況】

○水稻

組合員数は実人数 13,402 人で、昨年から 899 人減少した（対前年比 93.7%）。引受面積は 665.7ha 減少した（同 93.5%）。水稻 1 類（主食用米）、2 類（飼料用米）、3 類（米粉用米）の引受があり、内訳は主食用米が 9,403.2ha で 613.7ha の減、飼料用米は 247.1ha で 52.0ha の減、米粉用米は 1.4ha で 0.1ha の減であった。

収入保険加入者の水稻作付面積は 5,847.9ha であるため、農業保険（収入保険＋農業共済）の補償対象となる水稻は、全作付面積の 91.9% であった。

○麦(令和6年産)

組合員数は 6 人減少し（対前年比 80.6%）、引受面積も 59.4ha 減少した（同 69.2%）。加入の内訳は、半相殺方式・8 割補償 1 人、全相殺方式・9 割補償 22 人、8 割補償 1 人、7 割補償 1 人であった。また、麦共済加入申込書提出後、収入保険への移行による共済関係の解除は、3 人・面積 35.4ha であった。

(被 害)

共済目的	被害組合員数	共 済 金	共 済 金 共済金額
水稲	人 503	円 36,131,276	% 0.49
麦	10	1,043,154	2.99
計	延 513	37,174,430	0.50

【被害の状況】

○水稲

イノシシを主体とし、シカ、ヌートリア、サルなどの獣害が県下全域で発生した。半相殺方式では、被害面積全体の73.9%、減収量の75.8%と大半を占めた。

7月上旬の豪雨、8月中旬から9月上旬の大雨により、倒伏、冠水などが県下全域で発生、一部では埋没、流出した。

夏季の酷暑による水不足で干害、塩害が発生した。春季の水不足により移植不能が1戸1圃場7.3a発生した。

いもち病、白葉枯病、紋枯病、稲こうじ病による被害が発生した。

コブノメイガによる虫害、スズメ、カモによる鳥害等の被害が発生した。

対前年比、被害組合員数74.4%、共済金65.8%であった。

○麦

播種後、12月下旬からの降雨により、排水の悪い一部圃場で土壌の湿潤状態が続いたことから、生育不良となった。

生育初期にカモの食害に会い、生育不良となった。

4月25日の大雨によって倒伏した。

対前年比、被害組合員数142.9%、共済金57.4%であった。

(支 払)

共済目的	支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共 済 金
			保 険 金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
水稲	12月 22日	円	円	円	円	円	円	%
	2月 22日	36,131,276		25,156,168			0	100.0
	3月 22日							
麦	10月 13日	1,043,154		2,264,349			0	100.0
計		37,174,430	0	27,420,517	9,753,913	0	0	100.0

(損害防止)

- ・ 獣害対策事業として、電気牧柵等の侵入防止設備や捕獲設備の設置等に対する一部助成やセンサーカメラの貸与事業を行った。
有害獣侵入防止助成金 264件 3,605,358円。捕獲檻・わな購入助成事業 13件 205,957円。センサーカメラ貸与事業 5件
- ・ 「土づくり」と「健全な稲づくり」に資するために土壌診断を実施し、農家の「土づくり」意識の向上を図った。令和6年1月実施 14戸 41圃場
- ・ 病害虫防除事業として、無人ヘリコプター等による病害虫防除の取りまとめを行った。
- ・ 予察情報の早期伝達による適期防除と被害の軽減を図るため、病害虫の発生予察を行った。

(2) 家畜共済関係

(引 受)

区分		項目	有資格 頭 数	事業計 画頭数	引 受 頭 数	引 受 頭 数 事業計画頭数	共済金額	徴 収 共済掛金	納 入 保険料	交 付 金	手 持 共済掛金
			頭	頭	頭	%	千円	円	円	円	円
死亡 廃用 共済		搾乳牛	8,730	8,722	9,048	103.7	2,659,873	82,959,794			
		育成乳牛 (子牛等)	3,300	3,297	3,327	100.9	901,100	5,371,393			
		繁殖用雌牛	10,181	10,155	10,126	99.7	4,287,388	29,061,851			
		育成・肥育牛 (子牛等)	45,438	43,623	43,377	99.4	15,997,838	161,865,314			
		繁殖用雌馬	38	26	31	119.2	12,171	389,360			
		育成・肥育馬	26	26	29	111.5	15,515	795,584			
		種豚	3,311	3,311	3,208	96.9	106,130	20,939			
		肉豚	21,701	21,701	21,851	100.7	192,289	21,634,952			
		種雄牛	15	15	16	106.7	7,615	210,645			
		種雄馬	4	3	5	166.7	4,111	160,645			
		計	92,744	90,879	91,018	100.2	24,184,029	302,470,477			
疾病 傷害 共済		乳用牛	10,339	10,328	10,547	102.1	405,179	71,380,489			
		肉用牛	32,838	31,016	31,182	100.5	1,094,253	173,906,678			
		一般馬	56	44	49	111.4	1,553	30,369			
		種豚	3,311	0	0	0	0	0			
		種雄牛	15	15	16	106.7	699	38,200			
		種雄馬	4	3	5	166.7	115	13,344			
		計	46,563	41,406	41,799	100.9	1,501,799	245,369,080			
合計		139,307	132,285	132,817	100.4	25,685,828	547,839,557		532,772,249	1,080,611,806	

注) 期末調整による過年度引受分徴収掛金 9,586,783 円は上記徴収共済掛金に含まない。

【引受の概要】

○死亡廃用共済

死亡廃用共済について、事業計画に比較し乳用牛 356 頭増加、肉用牛 275 頭減少、豚 47 頭増加で、全畜種で 139 頭増加の事業計画を上回る引受であった。前年度に比較し乳用牛 75 頭減少、肉用牛 1,108 頭減少、豚 297 頭増加した。共済金額は乳用牛 9 億 7,118 万円減少、肉用牛 41 億 9,063 万円減少、豚 3,555 万円減少した。豚頭数の増加があったものの牛の飼養減少により、全畜種で 875 頭減少、共済金額 51 億 9,036 万円減少の引受であった。

○疾病傷害共済

疾病傷害共済について、事業計画に比較し乳用牛 219 頭増加、肉用牛 166 頭増加で、全畜種で 393 頭増加の事業計画を上回る引受であった。前年度に比較し乳用牛 180 頭減少、肉用牛 350 頭減少した。共済金額は乳用牛 5,619 万円増加、肉用牛 3 億 9,788 万円増加した。牛の飼養の減少があったものの制度改正による共済金額の増加があり、全畜種で 522 頭減少、共済金額 4 億 5,518 万円増加の引受であった。

(事 故)

区分	項目	死 亡 廃 用 共 済			
		死亡頭数	廃用頭数	総頭数	支払共済金
		頭	頭	頭	円
	搾乳牛	438	231	669	184,720,956
	育成乳牛 (子牛等)	121	3	124	10,986,542
	繁殖用雌牛	189	80	269	92,429,799
	育成・肥育牛 (子牛等)	1,274	92	1,366	280,608,917
	繁殖用雌馬	0	0	0	0
	育成・肥育馬	2	0	2	1,138,000
	種豚	0	0	0	0
	肉豚	3,611	0	3,611	31,719,808
	種雄牛	1	0	1	536,800
	種雄馬	0	0	0	0
	計	5,636	406	6,042	602,140,822

注) 期末調整による過年度分支払共済金 1,127,180 円は含まない。

区分	項目	疾病傷害共済	
		件数	支払共済金
		件	円
乳用牛		19,456	156,620,750
肉用牛		70,698	367,430,219
一般馬		14	95,319
種豚		0	0
種雄牛		4	24,039
種雄馬		0	0
計		90,172	524,170,327

【事故発生の概要】

○死亡廃用事故

前年度に比較し、事故頭数は乳用牛 7 頭減少、肉用牛 8 頭増加、豚 62 頭減少し、支払共済金は乳用牛 3,857 万円減少、肉用牛 7,335 万円減少、豚 335 万円減少した。事故頭数は前年度並みであったが、支払共済金は評価額及び補償割合の低下が影響し、全畜種で 63 頭減少、支払共済金 1 億 1,539 万円減少した。

○疾病傷害事故

前年度に比較し、乳用牛 389 件減少、肉用牛 865 件増加した。支払共済金は乳用牛 731 万円減少し、肉用牛 417 万円減少した。肉用牛の事故の増加があったものの、乳用牛の事故が減少傾向にあり、全畜種で 483 件増加、支払共済金 1,144 万円減少した。

(損害防止)

実施種目		対象頭数又は回数	経費	摘要
特定損害防止		頭(回) 1,350	円 13,952,890	乳牛(周産期疾患・乳房炎・運動器疾患)、肉用牛(繁殖障害・呼吸器疾患)
一般損害防止	健康検査	333	666,000	血液検査による代謝プロファイルテスト
	予防衛生措置	41,852	52,384,970	肝蛭・コクシジウムの駆虫、磁石の投与、ワクチン接種など
	飼養管理指導	3,271	4,494,278	ビタミン剤・ミネラル剤の投与指示
	講習会、講話会	—	—	
計		46,806	71,498,138	

【損害防止の概要】

家畜の事故防止を図るため、血液検査や乳汁の細菌検査等の損害防止事業を実施した。

特定損害防止事業の国からの交付金は8,257千円であった。

(診療所)

診療所名	獣医師数	管内		診療件数		損害防止事業			摘要
		有資格頭数	加入頭数	共済事故	事故外	一般	特損	経費	
	人	頭	頭	頭	頭	頭(回)	頭	円	
東部家畜診療所	7(6)	5,533	5,452	5,822	5,231	8,896	103	14,021,304	
雲南家畜診療所	9(6)	9,293	6,777	11,463	6,434	12,953	353	21,663,170	
出雲家畜診療所	9(6)	5,318	5,231	9,583	5,831	9,957	568	16,522,486	
石見家畜診療所	7(3)	13,069	11,110	16,954	7,991	12,311	314	16,808,204	
石西家畜診療所	13(12)	13,350	13,229	44,580	598	1,339	12	2,482,974	
計	45(33)	46,563	41,799	88,402	26,085	45,456	1,350	71,498,138	

獣医師数は、嘱託獣医師含む。()内は嘱託獣医師数。

(3) 果樹共済関係

(引 受)

年度	果樹区分	組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A)±(B)
4	ぶどう	人 135	a 3,394.7	円 232,411,000	円 2,006,103	円 1,905,761	円 3,911,864
	かき	45	1,540.7	23,989,000	402,430	289,612	692,042
	くり	9	450.0	766,000	26,714	15,958	42,672
	樹体(ぶどう)	18	1,320.5	199,189,000	1,105,075	1,030,918	2,135,993
	計	207	6,705.9	456,355,000	3,540,322	3,242,249	6,782,571
5	ぶどう	120	2,962.6	208,792,000	1,679,299	1,595,354	3,274,653
	かき	44	1,484.3	25,433,000	420,391	302,825	723,216
	くり	7	327.0	497,000	15,840	9,463	25,303
	樹体(ぶどう)	18	1,377.1	219,219,000	1,315,244	1,226,893	2,542,137
	計	189	6,151.0	453,941,000	3,430,774	3,134,535	6,565,309

【引受の状況】

○ぶどう

新規加入が5人、高齢化に伴う廃業と収入保険への移行(3人)により組合員数は15人減少(対前年比88.9%)、面積は4.3ha減少した(対前年比87.3%)。

○かき

新規加入が1人、高齢化に伴う廃業が2人あり、組合員数は1人減少(対前年比97.8%)、面積は0.6ha減少した(同96.3%)。

○くり

高齢化に伴う廃業により組合員数は2人(対前年比77.8%)、面積は1.2ha減少した(同72.7%)。

○樹体(ぶどう)

成園又は経営拡大により面積は0.6ha増加した(対前年比104.3%)

(被 害)

果樹区分	被害組合員数	共 済 金	共 済 金 共済金額
ぶどう	人 3	円 2,042,960	% 0.88
かき	5	457,890	1.91
くり	4	181,220	23.66
樹体(ぶどう)	13	2,046,743	1.03
計	25	4,728,813	1.04

【被害の状況】

○ぶどう

7月8日から9日にかけての大雨により圃場が冠水し、雨害湿潤害（裂果）の被害を受けた。
5月下旬から6月上旬の降雨により、加工用ぶどうにベト病が発生した。

○かき

夏場の高温で樹勢が弱り、9月の降雨で落葉病、黒星病が発生し、樹上軟果や落果の被害を受けた。
ハウス内栽培の柿が夏場の高温で生理落果の被害を受けた。

○くり

夏場の高温で8月中旬より水不足になり樹勢が弱り、生育も悪く小粒、しわ栗が発生し減収となった。
収穫前の8月2日から30日にかけて園地内にサル、クマが侵入し、食害や枝折れが発生し減収となった。

○樹体(ぶどう)

4年8月中旬の大雨、5年1月下旬から3月までの干ばつ・少雨、4月から5月にかけての高温により、樹勢が低下し白紋羽病に罹患したため、デラウェア・巨峰・マスカットベリーA・シャインマスカットの樹木が枯死した。

(支 払)

果樹区分	支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共 済 金
			保 険 金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
		円	円	円	円	円	円	%
ぶどう	12月22日	2,042,960	/	/	/	/	0	100.0
かき	3月22日	457,890	/	/	/	/	0	100.0
くり		181,220	/	/	/	/	0	100.0
樹体(ぶどう)	8月10日	2,046,743	/	/	/	/	0	100.0
計		4,728,813	0	4,728,813	0	0	0	100.0

(損害防止)

- ・果樹共済(ぶどう) 土壌診断事業を実施した。実施内容 令和5年9月 73戸 199園地
- ・果樹共済(かき) 土壌診断事業を実施した。実施内容 令和6年1月 5戸 10園地

(4) 畑作物共済関係

(引 受)

年度	項目	組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交 付 金 (B)	手持共済掛金 (A) + (B)	
	畑作物区分							
5 年 度	大 豆	人 26	a 6,211.2	円 18,115,854	円 466,443	円	円	
	そ ば	45	11,158.2	13,536,589	658,234			
	計	延	71	17,369.4	31,652,443	1,124,677	360,448	1,485,125
		実	70					

【引受の状況】

○大豆

収入保険への移行により、組合員数は9人減少（対前年比74.3%）。面積は30.6ha減少した（対前年比67.0%）。

収入保険加入者の大豆作付面積は371haであるため、農業保険（収入保険+農業共済）の補償対象となる大豆は、全作付面積の71.0%であった。

○そば

収入保険への移行、栽培の中止により組合員数は13人減少（対前年比77.6%）。面積は43.5ha減少した（対前年比71.9%）。

収入保険加入者のそば作付面積は251haであるため、農業保険（収入保険+農業共済）の補償対象となるそばは、全作付面積の69.0%であった。

(被 害)

畑作物区分	項目	被害組合員数	共 済 金	共 済 金 共済金額
大 豆		人 13	円 2,065,562	% 11.40
そ ば		13	2,307,240	17.04
計	延	26	4,372,802	13.82
	実	26		

【被害の状況】

○大豆

7月上旬や9月上旬の大雨で土壌湿潤害が発生し、根腐れ等生育不良で草丈が低く、着莢低下を招き収量減少した。収穫期前にイノシシ・サルが圃場に侵入し、踏み倒し被害や食害を受けて減収した。対前年比、被害組合員数 92.9%、共済金 159.7%であった。

○そば

ハスモンヨトウによる食害が発生した。
台風7号(8月15日)や局地的な大雨(9月5日)により発芽不良や生育不良が発生した。
降雹(10月27日)により茎折れや脱粒し減収した
対前年比、被害組合員数 44.8%、共済金 85.5%であった。

(支 払)

畑作物区分	項目	支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共 済 金
				保 険 金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
			円	円	円	円	円	円	%
大豆		3月22日	2,065,562					0	100.0
そば			2,307,240					0	100.0
計			4,372,802	1,897,524	1,485,125	990,153	0	0	100.0

(損害防止)

- 大豆の基幹防除(病虫害対策)として、8月25日から9月20日に紫斑病、ハスモンヨトウ、カメムシ類等を対象に無人ヘリコプターによる防除(散布面積12.1ha)の取りまとめを行った。

(5) 園芸施設共済関係

(引 受)

施設区分		項目	組合員数	引受棟数	設置面積	共 済 価 額	共 済 金 額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A)±(B)	
			人	棟	m ²	円	円	円	円	円	
ガラス室	Ⅱ類		11	28	10,329	131,586,696	98,057,240	21,623	16,695	38,318	
プラスチック ハウス	Ⅱ類		1,856	5,261	2,027,589	6,757,903,849	4,898,928,607	29,319,863	10,984,872	40,304,735	
	Ⅲ類		19	28	33,541	193,044,380	138,285,562	285,744	192,817	478,561	
	Ⅳ類	甲		15	19	19,164	183,161,890	142,099,208	149,081	114,003	263,084
		乙		23	42	52,025	488,415,582	381,502,409	327,798	148,636	476,434
	Ⅴ類		15	21	20,869	443,374,547	348,005,233	514,934	321,214	836,148	
	Ⅵ類		30	57	45,382	93,566,973	65,357,541	408,243	169,198	577,441	
	Ⅶ類		9	15	61,073	29,093,437	20,105,975	185,854	163,123	348,977	
計			1,978	5,471	2,269,972	8,320,147,354	6,092,341,775	31,213,140	12,110,558	43,323,698	

※引受変更に伴う還付支払金、交付金の修正を含む。

【引受の状況】

集団加入の協定締結による引受と個別推進の取り組みにより戸数は前年実績を上回った。高齢化に伴う廃園により出雲支所のぶどうハウスが減少したため、引受棟数、共済金額は前年実績を下回った。

前年対比増減

組合員数 72人 103.8% 引受棟数 △90棟 98.4% 共済金額 △11,716千円 99.8%

(被害)

施設区分		被 害			損害の額	共 済 金					共 済 金 共済金額	
		組合 員数	棟 数	附 帯 施設数		特定園 芸施設	附帯施設	施 設 内 農 作 物	復旧費用 撤去費用	合 計		
		人	棟	基	円	円	円	円	円	円	%	
ガラス室	Ⅱ類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	
プラス チック ハウス	Ⅱ類	145	182	2	12,375,821	8,573,018	498,822	209,133	0	9,280,973	0.19	
	Ⅲ類	1	1	0	66,120	26,448	0	0	0	26,448	0.02	
	Ⅳ類	甲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
		乙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	Ⅴ類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	
	Ⅵ類	2	2	0	706,395	565,116	0	0	0	565,116	0.86	
	Ⅶ類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	
計		148	185	2	13,148,336	9,164,582	498,822	209,133	0	9,872,537	0.16	

【被害の状況】

台風6号(8月10日)や低気圧の通過(11月7日、11月18日、3月20日)に伴う強風、降雹(10月27日)、積雪(1月25日)により施設本体・被覆材に被害が生じた。大雨による冠水(7月8日、8月15日)で附帯施設が水没する被害が発生した。

夏作メロンにネコブセンチュウの虫害のほか、落雷(12月7日)、車両の衝突による被害が発生した。

<内訳>

	棟数	共済金	支払割合	
風 害	165棟	6,869,828円	69.6%	(特定園芸施設)
雪 害	6棟	1,559,899円	15.8%	(特定園芸施設)
水 害	2棟	498,822円	5.1%	(附帯施設)
落 雷	1棟	366,523円	3.7%	(特定園芸施設)
雹 雷	7棟	288,091円	2.9%	(特定園芸施設)
虫 害	2棟	209,133円	2.1%	(メロン・ネコブセンチュウ)
そ の 他	2棟	80,241円	0.8%	(特定園芸施設・車両の衝突)

(支 払)

実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共 済 金
	保 険 金	手 持 掛 金 充 当 額	法 定 積 立 金 充 当 額	特 別 積 立 金 充 当 額	そ の 他	
円 9,872,537	円 1,129,539	円 8,742,998	円 0	円 0	円 0	% 100.0

(損害防止)

- ・風害等の被害拡大防止対策事業として補修テープの配布を実施した。 693 個 499,306 円

(6) 任意共済関係

1 建物共済

(引受関係)

(1) 農家建物

加入棟数	共済金額	共済掛金		1棟当たり 平均共済金額	任意保険料	保険手数料
		純共済掛金	賦課金			
棟 87,564	円 1,071,816,420,000	円 623,119,421	円 414,348,378	円 12,240,378	円 327,680,570	円 111,148,854

総共済掛金額 1,037,467,799 円、任意保険割合 地震以外 30% 地震 50%。保険手数料割合 火災共済 40.5% 総合共済 10.5%。

独自保険割合 地震等：前年度総合共済引受共済金額の 3.5%を超えた額の 50% 地震等を除く自然災害：前年度総合共済純共済掛金の 1,650%を超えた額の 60%。

【引受の状況】

火災共済は、中止・解約により共済金額が前年対比 220 億円減少した。一方、総合共済は、自然災害リスクへの懸念から共済金額が前年対比 2 億 804 万円増加した。火災、総合共済を合わせた共済金額は、前年対比伸長率 98.0%となった。

(事故関係)

(1) 農家建物

事故棟数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)		任意保険金	被害率 (ロ) / (イ)	備考
		火 災	風水害等			
棟 755	円 1,071,816,420,000	円 218,688,757	円 115,338,278	円 100,181,976	% 0.03	

【被害の状況】

火災事故は、前年対比 8 棟の増、支払共済金は 1,834 万円減の 2 億 1,869 万円となった。また、自然災害(風水害等)は、前年対比 151 棟の増、支払共済金は 2,146 万円増の 1 億 1,534 万円の支払いとなった。

(2) 建物共済原因別事故発生状況

イ 農家建物

事故の原因別	事故棟数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	任意保険金	被害率 (ロ) / (イ)	備考
火災	棟 44	円	円 218,688,757	円 65,606,614	% 0.03	
落雷	277		円 41,533,006	円 12,422,146		
拡張担保 (落雷除く)	187		円 15,072,279	円 4,521,643		
自然災害 (地震除く)	247		円 58,732,993	円 17,631,573		
地震	0		円 0	円 0		
計	755	1,071,816,420,000	334,027,035	100,181,976	0.03	

2 農機具損害共済

(引受関係)

加入台数	共済金額	共済掛金		1台当たり 平均共済金額	備 考
		純共済掛金	賦課金		
台 11,148	円 21,368,360,000	円 108,470,301	円 25,552,127	円 1,916,789	

【引受の状況】

前年対比で台数110台、共済金額7億1,799万円増加した。加入物件の内訳は、トラクタ、田植機、コンバインなどの普通物件が10,838台、農用トラック113台、畜産用農機具197台となった。

(事故関係)

事故台数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金(ロ)		被害率 (ロ)/(イ)	備 考
		火 災	風水害等		
台 424	円 21,368,360,000	円 4,714,087	円 110,017,108	% 0.54	

【被害の状況】

事故台数は、前年対比19台減少し、支払共済金は226万円増の1億1,473万円となった。
機種別にはコンバイン144台3,894万円、トラクタ132台3,057万円で全体の60.6%を支払った。

農機具損害共済原因別事故発生状況

事故の原因別	事故台数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	被害率 (ロ)/(イ)	備 考
火災・落雷	台 14	円 21,368,360,000	円 9,232,857	%	火災事故5台、落雷事故9台
自然災害	4		円 743,299		風水害3台、雪害1台
接触	260		円 43,555,318		接触事故260台
その他稼働中事故	146		円 61,199,721		主な事故は衝突43台、異物巻込63台 他
計	424		円 114,731,195	0.54	

3 保管中農産物補償共済

(引受関係)

加入件数	加入口数	共済金額	共済掛金		1件当たり 平均共済金額	任意保険料
			純共済掛金	賦課金		
件 1	口 2	円 2,000,000	円 3,500	円 1,500	円 200,000,000	円 3,724

総共済掛金額 5,000 円、任意保険割合 100%

【引受の状況】

1 件の新規加入があった。

(事故関係)

事故件数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)		任意保険金	被害率 (ロ) / (イ)	備考
		火災	風水害等			
棟 0	円 0	円 0	円 0	円 0	% -	

【被害の状況】

被害なし

(7) 農機具更新共済関係

(引 受)

加入台数	共済金額	減価共済金	共 済 掛 金		
			純 共 済 掛 金		賦 課 金
			損 害 部 分	減 価 部 分	
台 66	円 159,300,000	円 148,800,000	円 856,193	円 18,857,632	円 557,660

【引受の状況】

新規加入が 11 台、満期 12 台で、加入台数は前年対比 2 台減り 66 台となった。保有高は前年対比 839 万円減の 1 億 6,074 万円となった。

(事 故)

事故台数	期間満了台数	加入総共済金額 (イ)	支 払 共 済 金		被害率 (ロ) / (イ)
			火災・風水害等 (ロ)	期間満了によるもの	
台 9	台 12	円 159,300,000	円 1,105,121	円 22,630,000	% 0.69

【被害の状況】

事故台数は 9 台で、共済金は前年対比 87 万円増の 1,105,121 円となった。事故機種は、トラクタ、田植機、コンバインなどであった。

(8) 農業経営収入保険関係

(引 受)

目標	実績	基準収入金額
経営体 1,250	経営体 1,208	円 11,481,795,956

【状況】

前年度と比較して79経営体の増となった。(東部支所28経営体、出雲支所19経営体、石見支所18経営体、石西支所14経営体)
目標達成率は96.6%(東部支所93.2%、出雲支所97.1%、石見支所97.0%、石西支所100.0%)

(支 払)

保険年度	加入	支払	特約補てん金	保険金	合計
令和4年	経営体 1,129	経営体 364	円 197,225,499	円 116,546,042	円 313,771,541

【状況】

保険金等(特約補てん金及び保険金)の支所別支払経営体数は、東部支所85経営体(対加入者41.7%)、出雲支所148経営体(対加入者27.2%)、石見支所92経営体(対加入者38.2%)、石西支所39経営体(対加入者27.9%)となっている。

(9) 業務関係

ア 重要な処理事項

年 月 日	開 催 し た 主 た る 協 議 事 項		
自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日	理事会 理事会小委員会 監事会	6回 4回 5回	第1回理事会（於島根県農業共済組合本所会議室）第6回通常総代会提出議案について外16議案について協議を行った。（令和5年6月8日） 第2回理事会（於島根県農業共済組合本所会議室）ぶどう共済当初評価高について外5議案について協議を行った。（令和5年7月28日） 第3回理事会（於島根県農業共済組合本所会議室）麦共済当初評価高について外1議案について協議を行った。（令和5年9月8日） 第4回理事会（於島根県農業共済組合本所会議室）水稻共済当初評価高について外6議案について協議を行った。（令和5年12月1日） 第5回理事会（於島根県農業共済組合本所会議室）島根県農業共済組合総代補欠選挙について外5議案について協議を行った。（令和6年2月2日） 第6回理事会（於島根県農業共済組合本所会議室）大豆共済当初評価高について外23議案について協議を行った。（令和6年3月14日） 総務関係小委員会を4回、事業関係小委員会を4回開催し、役員定数・執行体制についてなどの検討を行った。（令和5年7月28日）（令和5年9月8日）（令和5年10月30日）（令和5年12月1日） 第1回監事会（於島根県農業共済組合本所会議室）決算監査理事会報告事項について外2議案について協議を行った。（令和5年5月29日） 第2回監事会（於島根県農業共済組合本所会議室）定時監査（中間監査）計画について協議を行った。（令和5年7月28日） 第3回監事会（於島根県農業共済組合本所会議室）臨時監査（家畜診療所監査）報告事項について協議を行った。（令和5年8月22日） 第4回監事会（於島根県農業共済組合本所会議室）定時監査（中間監査）報告事

	<p>監事による監査</p> <p>総代会</p> <p>県庁常例検査</p> <p>コンプライアンス改善委員会</p>	<p>4回</p> <p>2回</p> <p>2回</p>	<p>項について外1議案について協議を行った。(令和5年11月2日)</p> <p>第5回監事会(於島根県農業共済組合本所会議室)臨時監査(経理監査)理事会報告事項について外3議案について協議を行った。(令和6年2月2日)</p> <p>第1回定時(決算)監査(令和5年5月19日、22日、23日、24日、29日)</p> <p>第2回定時(中間)監査(令和5年10月19日、20日、24日、25日、27日、11月2日)</p> <p>臨時(家畜診療所)監査(令和5年8月2日、4日、8日、10日、18日、22日)</p> <p>臨時(本所・支所)監査(令和6年1月15日、17日～19日)</p> <p>第6回通常総代会(於ラピタ ウェディングパレス 鳳凰の間)提出議案を原案通り承認議決した。(令和5年6月20日)</p> <p>第11回臨時総代会(於島根県農業共済組合本所会議室)提出議案を原案通り承認議決した。(令和6年3月26日)</p> <p>島根県農林水産部農林水産総務課の検査を受けた。</p> <p>邑智事務所(令和5年7月19日～20日)</p> <p>浜田事務所(令和5年8月9日～10日)</p> <p>石見支所(令和5年9月19日～21日)</p> <p>石見家畜診療所(令和5年9月22日)</p> <p>本所及び出雲支所(令和5年12月11日～15日)</p> <p>コンプライアンス態勢について、令和5年度コンプライアンス・プログラムの達成状況について、苦情処理対応要領に基づく苦情等の報告について、口座振替の移行状況について、現金の取り扱いについて検討を行った。(令和5年8月28日)</p> <p>コンプライアンス・マニュアルの見直しについて、令和6年度コンプライアンス・プログラム(案)について、現金の取り扱いについて、令和5年度コンプ</p>
--	--	-------------------------------	---

	<p>コンプライアンス研修会</p> <p>余裕金運用管理委員会</p> <p>損害評価会</p>	<p>1回</p> <p>4回</p>	<p>ライアンス・プログラムの達成状況について、口座振替の移行状況について検討を行った。（令和6年2月22日）</p> <p>コンプライアンスに係る役職員研修を行った。（令和5年11月14日2会場、15日2会場）</p> <p>安定・確実な利息収入を確保するために協議を行った。 （令和5年5月25日、7月18日、11月14日、令和6年2月29日）</p> <p>水稲共済部会3回、麦共済部会1回、家畜共済部会1回、ぶどう共済部会1回、かき共済部会1回、くり共済部会1回、大豆共済部会1回、そば共済部会1回、任意共済部会1回を開催し、危険段階別共済掛金率の設定及び損害評価に関する事項等の協議並びに評価高認定を行った。</p>
--	---	---------------------	---

イ 総代会

(ア) 第6回通常総代会（令和5年6月20日）

総代会日現在総代数 (A)	196人	出席率
本人出席 (B)	94人	(B) / (A) 48.0%
代理出席	0人	
書面出席	89人	
出席者計 (C)	183人	(C) / (A) 93.4%

重要な議事及び議決事項

1. 令和4年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及び不足金処理案について
2. 令和5年度事業計画設定について
3. 令和5年度事務費賦課額並びに徴収方法について
4. 令和5年度役員、顧問並びに各委員の報酬額について
5. 令和5年度借入金最高限度額等の決定について
6. 令和5年度余裕金預入先の決定について
7. 令和5年度農作物共済特別積立金の取り崩し実施について
8. 〔定款附属書〕島根県農業共済組合総代選挙規程の一部変更について
9. 島根県農業共済組合事業規程の一部変更について
10. 損害評価会委員の補欠選任について

附帯決議

(イ) 第11回臨時総代会（令和6年3月26日）

総代会日現在総代数 (A)	204人	出席率
本人出席 (B)	17人	(B) / (A) 8.3%
代理出席	0人	
書面出席	177人	
出席者計 (C)	194人	(C) / (A) 95.1%

重要な議事及び議決事項

1. 令和5年度事業計画設定(業務収支予算書)の変更について
2. 島根県農業共済組合事業規程の一部変更について
3. 農作物共済掛金標準率の改定及び危険段階別共済掛金率の設定について
4. 園芸施設共済掛金標準率の改定及び危険段階別共済掛金率の設定について
5. 島根県農業共済組合諸規則の一部変更について
6. 家畜診療所未収診療費に係る損金計上について
7. 島根県農業共済組合における実施体制の改善計画について

附帯決議

ウ 組合員の増減

年度始組合員数	年度末組合員数	増 減	摘 要
49,787人	48,438人	△1,349人	

エ 役職員数その他

(ア) 役員 -令和6年3月31日現在-

理 事			監 事			計
常 勤	非常勤	計	常 勤	非常勤	計	
0人	17人	17人	0人	3人	3人	20人

(イ) 職員 -令和6年3月31日現在-

①本所/出雲支所

性 別 \ 事 項	参 事 人	支 所 長 人	内 部 監 査 室 人	総 務 課 人	企 画 情 報 課 人	農 産 課 人	家 畜 課 人
男	1	1	1	5	4	7	6
女			1	4		1	1
計	1	1	2	9	4	8	7
性 別 \ 事 項	建 物 農 機 具 課 人	収 入 保 険 課 人	小 計 人	雲 南 事 務 所 人	仁 多 郡 事 務 所 人	合 計 人	
男	4	4	33	7	1	41	
女	2	2	11	3	1	15	
計	6	6	44	10	2	56	

※上記職員数には、内部監査室；嘱託(女)1人、総務課；嘱託(女)2人、パートタイム(女)1人、農産課；嘱託(男)1人、臨時(男)1人
 建物農機具課；嘱託(女)1人、収入保険課；嘱託(男)1人、臨時(女)1人、雲南事務所；嘱託(女)1人、臨時(男)1人
 仁多郡事務所；臨時(女)1人、パートタイム(男)1人を含む。

②東部支所

性別 \ 事項	支 所 長	総 務 課	農 産 課	家畜建物課	隠岐事務所	合 計	備 考
	人	人	人	人	人	人	
男	1	1	9	6	2	19	
女		2	1	2		5	
計	1	3	10	8	2	24	

※上記職員数には、農産課；嘱託(男) 2人、家畜建物課；嘱託(男) 3人、嘱託(女) 1人を含む。

③石見支所

性別 \ 事項	支 所 長	総 務 課	農 産 課	家畜建物課	邑智事務所	浜田事務所	合 計
	人	人	人	人	人	人	人
男	1		4	3	6	5	19
女		2	1	3	1	1	8
計	1	2	5	6	7	6	27

※上記職員数には、総務課；嘱託(女) 1人、農産課；嘱託(女) 1人、家畜建物課；嘱託(女) 2人、邑智事務所；嘱託(女) 1人、浜田事務所；嘱託(男) 1人、(女) 1人、臨時(男) 1人を含む。

④石西支所

性別 \ 事項	支 所 長	総 務 課	農 産 課	家畜建物課	合 計	備 考
	人	人	人	人	人	
男	1	2	5	5	13	
女		1	1	2	4	
計	1	3	6	7	17	

※上記職員数には、総務課；嘱託(男) 1人、パートタイム(女) 1人、農産課；嘱託(男) 1人、嘱託(女) 1人、家畜建物課；嘱託(男) 1人、(女) 1人を含む。

⑤家畜診療所／家畜臨床技術センター

事項		東 部 診	雲 南 診	出 雲 診	石 見 診	石 西 診	臨床技術センター	合 計
性別		人	人	人	人	人	人	人
獣医師	男	2	3	2	3	1		11
	女		1	1	1		2	5
事務職	男							
	女	1	1	1	1		1	5
計		3	5	4	5	1	3	21

※上記事務職員数には、東部診；嘱託(女) 1人、雲南診；嘱託(女) 1人、出雲診；嘱託(女) 1人、石見診；嘱託(女) 1人、臨床技術センター；嘱託(女) 1人を含む。

(ウ) 総代、NOSAI 部長（共済連絡員）、損害評価会委員、損害評価員

総 代	NOSAI 部長	損害評価会委員	損 害 評 価 員
204人	4,338人	170人	1,686人